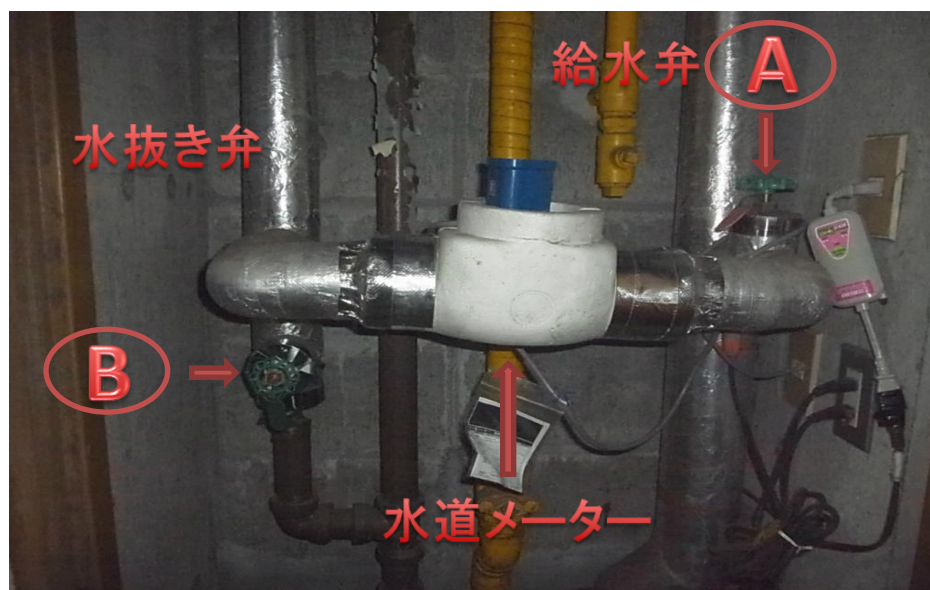


【冬期間における水抜き方法】

冬期間、水道管の凍結の恐れがある場合や長期間不在にする場合に行ってください。（水抜き操作を行わず修理が必要となった場合の費用は自己負担となります。）



この写真は奇数番号のお部屋(1・3号室)のものです。
偶数番号のお部屋(2・4号室)は弁の位置が左右逆になります

《水抜き操作方法》

- ① 「A」の給水弁を「右」に回し「全閉」にして下さい。（全閉にすると室内の給水が全て止まります。）
- ② 「B」の水抜き弁を「左」に回し「全開」にして下さい。（全開にすると室内の水抜きが始まります。）
- ③ 室内の各蛇口を「全開」にしてください。
（全開にすると蛇口の水が出るところから空気が吸い込まれ、水道管内の水が完全に抜けます。）
- ④ トイレロータンのレバーを操作しタンクを空にします。
- ⑤ 風呂釜は、本体の正面に表示された水抜き方法に従い、確実に水抜きを行ってください。
- ⑥ 湯沸器も同様に本体に表示された水抜き方法に従い確実に水抜きを行ってください。
- ⑦ 洗濯機につないだ給水ホースは、水抜の際取外し、水抜終了後につなぎなおしてください。
- ⑧ 水抜き終了後は、事故防止のため、各蛇口を確実に閉めておいてください。

《通水操作方法》

- ① 「B」の水抜き弁を「右」に回し「全閉」にして下さい。
- ② 「A」の給水弁をゆっくりと「左」に回し「全開」にして下さい。
- ③ 室内の各蛇口をゆっくりと開き、水道管内の空気を抜いてください。（いきなり蛇口を開くと水と空気が勢いよく飛び散る場合がありますので注意してください。）

△注意

- 水抜き栓、給水バルブの操作は「全開・全閉」を確実に行って下さい。
中途半端な状態で開閉されていると、水の出が悪かったり漏水の原因となります。